滋賀県議会議員

奥村よしまさ 県政レポート

Okumura Yoshimasa Kensei Report

Vol.40
平成29年4月 発行

SHINOBI-TRAIN 運行記念セレモニー

2月25日に草津駅で行われた忍者の装飾を施した『SHINOBI-TRAIN』の運行記念セレモニーに出席しました。草津・柘植間を結ぶJR草津線は、1980年に沿線の皆様の要望で全線が電化され、次は複線化に向けて動いています。このSHINOBI-TRAINは忍者だけに、運行時間が不規則で神出鬼没な電車ですが、観光列車として今後も活躍してくれることを期待しています。

県の財政に見通しを立て、財源の明確化を!!

先の2月定例会議にて平成29年度滋賀県一般会計予算が可決されました。公共施設の大規模整備事業も予定されていますが、県の財政の見通しが立っていない中、明確に財源も示されておらず、大きな懸案事項となっています。特に新生美術館の整備（約69億円）については、計画段階から内容が二転三転するなど、その進め方に県議会からも疑問の声が噴出しています。新生美術館の他にも、彦根総合運動公園（約200億円）、新県立体育館（約94億円）、琵琶湖博物館（約15億円）、びわ湖ホール・本館（34億円）など規模の大きい整備事業が計画されていますが、まずはしっかりと県の財政の見通しを立て、明確に財源を示すよう質していきたいと思います。

新生美術館整備事業について

新生美術館の整備事業については、先述の通り、その進め方に不安を抱かずにはいられない状況です。この事案に関しては2月定例会議にて県議会から以下の内容で決議案を提出し、可決されましたのでご報告いたします。

〈新生美術館の整備に関する決議〉

新生美術館は、「神と仏の美」、「近代・現代美術」、「アール・ブリュット」を柱に、滋賀ならではの美の魅力を発信する「美の滋賀」の拠点として平成31年度の開館を目指して整備が進められている。

しかしながら、設計の過程において、新館の面積が平成25年12月に策定された基本計画で想定された面積から4割近く削減される一方で、**単位面積あたりの整備費は想定より大幅に上昇**した。

これに対して、県は、文化財を収蔵・展示するにもかかわらず、ガス消火設備を予定していなかったことから整備費が高くなったとするなど**基本計画のずさんさが明らか**になった。設計自体も、当初、トップライトやハイサイドライトにより自然光を採り入れるとしていた展示室を最終的には人工照明とするなど**度重なる変更**を余儀なくされた。

さらに、県議会が再三、求めているものの、**未だに館長の選任をはじめ人員体制が示されないばかりか、来館者目標30万人を達成する来館者増の具体的な対策や運営方針を提示せず**に平成29年度において美術館本体工事が強行される事態に陥っている。

今もなお、1つの美術館で3つの異なった分野を見せることについて疑問の声がある中で、**展示に関する具体的な計画が示されていない**ことも問題と言わざるを得ない。このため、新生美術館に専門的見地から助言している県顧問を県議会に参考人として招致したが、出席がかなわなかったことは大変遺憾である。また、本年3月14日には、琵琶湖文化館等に文化財を寄託してきた文化財所有者の不安感を払拭してほしいとして、滋賀県文化財保護連盟から新生美術館計画の充実について要望書が知事に提出されている。

よって、県当局においては、迷走を続けたこれまでの取組を真摯に受け止め、**文化財をはじめ収蔵作品を適切に保管・展示し、100年後も県民の誇りとなる美術館を実現するべく**今後の整備に当たって、滋賀県議会基本条例第16条の規定により、下記の措置を講じるよう強く求める。

(1)館長や経験を有する文化財担当の学芸員の増員等の人員体制や運営方針を早急に示すこと。

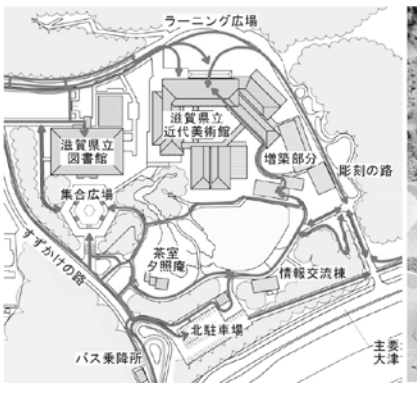
(2)公開承認施設として継続されるしっかりとした根拠を明らかにすること。

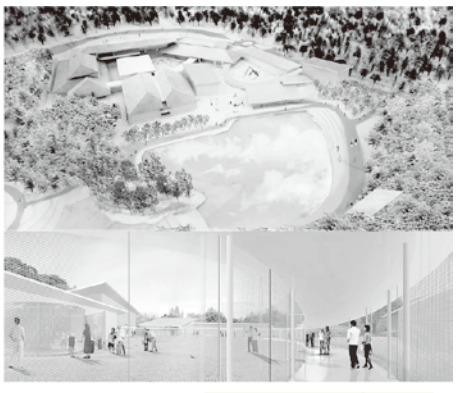
(3)美術館本体工事47億円をはじめ、これまで県議会に示した関連費用を含めた整備費用の総額約69億円の遵守に努めること。

(4)現在の近代美術館の約2倍となることを踏まえて、年間5億6,000万円と見込まれている維持管理経費等を縮減すること。

(5)費用対効果の面から課題がある情報交流棟については、レストラン等の採算性や情報交流室の必要性について説明責任を果たすこと。

(6)来館者の利便性を高める方策をさらに追求すること。





新生美術館についての詳細は滋賀県のHPでご覧いただけます。 新生美術館 検索

今回要望した措置がしっかりと講じられ、費用対効果の高い、来館者が満足できる美術館として新しく生まれ変わることを期待しています。

滋賀県議会議員
県議会 副議長
環境・農水 常任委員会 委員

自民党滋賀県支部連合会
副幹事長
第三選挙区 幹事長代理

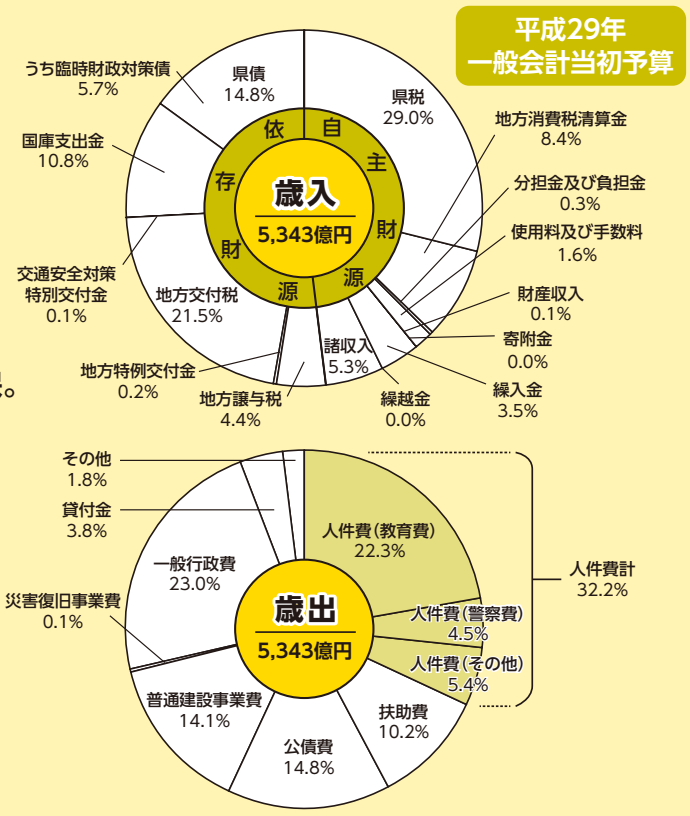
奥村 芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588
自 宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077- 562-4841

活動日記毎日更新中! http://www.genki-shiga.jp facebookもチェック!→ 奥村芳正 携帯でも発信しています!→

平成29年度滋賀県一般会計予算案が可決されました。

- 県税は、地方消費税減等を反映し、5年ぶりの減少。
- 一般財源総額については前年度と同水準に留まる。
- 社会保障関係費などの裁量が少ない経費が増加。
- プライマリーバランスは、当初予算比較で4年連続で黒字を維持。
- 県債については、抑制に努めるものの、発行額および残高が増加。
  臨時財政対策債を除く実質的な県債についても増加。
- 財源調整的な基金については、活用により残高は減少するが、なお一定額は確保。



予算規模

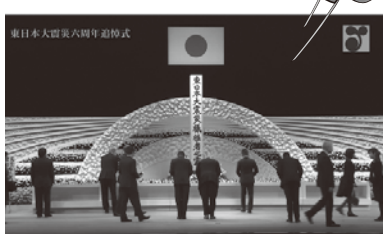
一般会計	5,343億円	(対前年度当初比　103億円減 ▲1.9%)
特別会計	1,666億円	(対前年度当初比　595億円減 ▲26.3%)
企業会計	756億円	(対前年度当初比　383億円増 +102.5%)

※企業会計は収益的支出および資本的支出の合計を示しています。
※公営競技事業特別会計を廃止し、平成29年度からモーターボート競走事業会計(企業会計)を新設しています。

草津市関係の平成29年度当初予算の取り組み(道路・河川・砂防)

【道路課所管事業】	◆補助道路整備事業(改築)〈道路の拡幅、バイパス整備、橋梁やトンネル工事などを行う事業です。〉		
	大津能登川長浜線	馬場・上砥山	道路・橋梁詳細設計、用地取得、橋梁下部工を推進〈新設・バイパス〉
	大津能登川長浜線	草津三丁目	道路詳細設計を推進〈現道拡幅〉
	栗東志那中線	穴村・新堂	用地取得、改良工事を推進〈現道拡幅〉
	◆補助道路修繕事業(主要事業のみ)〈のり面の災害防除工事や舗装、トンネル、橋梁の修繕を行う事業です。〉		
	草津守山線他	川原橋他	橋梁修繕設計、修繕工事を実施〈橋梁修繕〉
	◆単独道路改築事業〈道路の拡幅、バイパス整備、橋梁やトンネル工事などを行う事業です。〉		
	大津能登川長浜線	山手幹線	改良工事を推進〈新設・バイパス〉
	下笠大路井線	大路	草津川トンネル影響検討を推進〈現道拡幅〉
【流域政策局所管事業】	◆補助河川環境整備事業(改修)		
	琵琶湖(平湖・柳平湖)	草津市志那町	護岸工事を実施
	◆補助河川総合流域防災事業(改修)		
	北川	草津市野路1丁目	護岸工事を実施
	琵琶湖(草津地区)	草津市沖	水草刈取を実施
	◆単独河川改良事業(改修)		
	草津川	草津市馬場町他	堤防嵩上工事を実施
	◆単独河川改良事業(堤防強化)		
	草津川(堤)	草津市青地町他	堤防強化対策を実施
	◆みずべ・みらい再生事業(維持管理)		
	管内一円		治水上支障となる箇所について、緊急性の高いところから順次対応

MINI COLUMN vol.3 こころの学び



「追悼式の様子」首相官邸HPより

今一度、家族・地域社会の「絆」の大切さを考えよう!!

東日本大震災から6年が経ち、4月14日で熊本地震から1年が経ちます。2020年のオリンピックへ向けて社会が浮き足立って見える中でも、決して忘れてはならないのが「絆」だと思います。去る3月11日、国立劇場において、文仁親王同妃両殿下の御臨席のもとに開催された東日本大震災六周年追悼式に県議会を代表して献花をさせて頂きました。

その中で、改めて家族はもちろんのこと、地域・社会との絆の大切さに気付かされました。そして何よりも遺族の方のお言葉が深く心に残り、決して風化させてはならないと感じました。人生の節目節目で問われる「絆」の大切さについて今一度目を向けたいものです。

奥村よしまさ旅行友の会 研修旅行

日程　6月10日(土)
行先　北陸方面
「東尋坊～芦原温泉」

詳細は後日ご案内させていただきます。
皆さんのご参加をお待ちしております。